

令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 地域政策課
 担当名: 地域振興担当
 内線: 2774

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業			
P19	新たな働き方・暮らし方の定着を踏まえた地方創生推進事業費			一般会計	総務費	市町村振興費	市町村連絡調整費	地域づくり推進事業費			
事業期間	令和3年度～令和5年度	根拠法令	なし			針路	08	支え合い魅力あふれる地域社会の構築	SDGsゴール	11, 8, 12, 17	
						分野施策	0802	地域の魅力創造発信と観光振興	SDGsターゲット	11-3, 11-a, 8-5, 8	
1 事業概要	<p>全国的に人口減少が進む中、県人口も令和2年をピークに減少局面へと向かっており、今後、地域の担い手不足などが想定される。また、人口減少に加え、新型コロナウイルスの影響により生じた「新しい生活様式」など、様々な変化に対応することも求められている。この新しい生活様式をチャンスに変える地域づくりや地域特性に応じたコロナ後の地方創生を推進する。</p> <p>ア 新たな地方創生 調査・分析・企業連携事業 委託料の契約差金等による減 △2,171千円</p> <p>イ 未来会議推進費 事務費の節減等による減 △1,799千円</p>			<p>5 事業説明</p> <p>(1) 事業内容 新たな働き方・暮らし方の拡充などを踏まえた地方創生を推進するため、地域の特性を生かした官民連携のモデル事業を実施する。</p> <p>(2) 事業計画 ア 新たな地方創生 調査・分析・企業連携事業 (ア) 女性の活躍とヘルスリテラシー普及促進事業(東部) (イ) 利根版グリーンツーリズム事業(利根) (ウ) デジタルによる地域活性化事業(北部)</p> <p>イ 未来会議推進費 県と市町村の連携による地域課題への対策を推進するため、未来会議での十分な議論を通じて、市町村の施策立案・実施、県重点事業の活用、県・市町村の圏域事業の実施など効果的な取組を行う。</p> <p>(3) 事業効果 ア 地域の特性を生かした地方創生の推進により、魅力あるまちや地域の形成が図られる。 イ 未来会議での十分な議論を通じて、地域の課題解決に向けた事業が実施される。</p> <p>(4) 民間・民間活力、企業社員のマンパワーの活用、他団体との連携状況 事業を効果的に実施するため、庁内関係課、市町村、民間企業と密接に連携して事業を実施する。</p> <p>(5) 補正予算の概要 ア 委託料の契約差金等により減額を行うもの。 イ 事務費の節減等により減額を行うもの。</p>							
2 事業主体及び負担区分	ア (国1/2・県1/2) イ (県10/10)										
3 地方財政措置の状況	なし										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員	9,500千円×2人=19,000千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	補正後の 予算額	
		国庫支出金									
決定額	△3,970	△1,065						△2,905	23,336		
現計額	27,306	10,613						16,693			

事業内訳書

事業名	新たな働き方・暮らし方の定着を踏まえた地方創生推進事業費		
単位事業名	新たな地方創生 調査・分析・企業連携事業	予算額	△ 2,171千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 市町村振興費補助金	△1,065	—	デジタル田園都市国家構想交付金 補助率 定額
一般財源	△1,106	—	
合計	△2,171	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△330	—	有識者への謝金の減 △6人分、研修会講師への謝金の減 △5回分
旅費	△40	—	関係者との打合せ回数の減 △20回分
委託料	△1,532	—	契約差金等による減
使用料及び賃借料	△269	—	会議室使用料の減 △5回分
合計	△2,171	—	

単位事業名	未来会議推進費	予算額	△ 1,799千円
-------	---------	-----	-----------

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△1,799	—	
合計	△1,799	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
報償費	△340	—	講師謝金の減 △9回分
旅費	△210	—	研修会参加人数の減 △1人分
需用費	△298	—	電子媒体活用によるパンフレット印刷代の減、消耗品費の節減
役務費	△48	—	講師謝金の減 △5回分
委託料	△641	—	関係者との調整の結果、事業内容を見直す必要が生じるなど、複数の事業が不執行となったことによる減
使用料及び賃借料	△244	—	会議室使用料の減 △5センター分

単位事業名	未来会議推進費	予算額	△ 1,799千円
-------	---------	-----	-----------

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
負担金、補助及び交付金	△18	—	研修会参加人数の減 △4人分
合計	△1,799	—	